

あなたの健康を守るレーザー治療最前線

赤アザの悩みを
レーザー治療で解決!

第10回
赤アザ

今回は、赤アザの治療についてくわしく取り上げます。大城クリニックでは最新のレーザー治療で安心して赤アザを取ることができます。

治療費
17,000円~/cm²
(一部保険適応あり)

アザの色だけを取り除く色選択性 または細胞選択性レーザー治療

アザの治療は、ひと昔前まで皮膚を傷つける外科手術(皮膚移植など)や皮膚科の治療しかありませんでした。しかし、レーザー治療の進歩でほとんどのアザが一気に解決されるようになりました。たとえば、白い色はどんな色の光でも反射し、黒い色はすべての色の光を吸収します。また、赤い色は赤い色の光を反射して赤以外の色の光を吸収し、青い色は青い色の光を反射して青以外の色の光を吸収します。その性質

を利用して、現在では、レーザー光線を用いて色を選んで治療する色選択性または細胞選択性治療が可能となりました。

皮膚の異常は形態の異常と色調の異常に分けられます。アザは一般に赤、青、茶、黄、黒などの色で表現されています。皮膚の色は、色素細胞で作られるメラニン、赤血球のヘモグロビンのほか、カロチンなどによって成り立っています。

したがってアザはメラニン系と血管系とその他のアザに分けられます。アザのほとんどが、生まれつきに存在する場合が多く放置すると二

生お付き合ひすることになります。また、成長とともにアザが大きくなったり濃くなったりして、思春期に悩むことになりがちです。

しかしながら、最近では乳幼児の麻酔が発達し、1歳未満の赤ちゃんでも安全にレーザー治療が可能になりました。生まれてから3ヶ月くらいに治療を開始し、幼稚園入園前や小学校入学前に治療を終了することが、望ましいと考えられています。

レーザー治療は、皮膚へのダメージを少なくし、自然できれいな仕上がりになりますし、人それぞれの体質に合わせた治療もできます。今回は赤アザについて述べましたが、次回は青アザについてです。

赤アザについて

皮膚の健康や美しさを作る大切な要素は、皮膚の血液循環が良いことです。血液は心臓から大動脈、動脈、小動脈を通して毛細血管へ運ばれます。この毛細血管の部分や小動脈、小静脈の部分に拡張異常が起きたのが赤アザと呼ばれるものです。

赤アザの種類とレーザー治療

赤アザには、単純性血管腫、母状血管腫、海綿状血管腫、毛細血管拡張

※大城クリニックでの細胞選択性治療は、目を見張るばかりの歴史的な治療法です。大城クリニックではさまざまなレーザーを使った、最新の技術でレーザー治療を行っています。

張症などがあります。色は、赤紫、青紫、紅、ピンクなどの種類があります。大城クリニックでは、ルビーレーザー、アルゴンレーザーや色素レーザー、KTPレーザー、半導体レーザーなどで治療していますが、2001年から赤アザを取る最新式のレーザーも導入されました。そのレーザーは皮下出血などの副作用が少なく傷の治りが早いのが特長です。

「レーザー治療に関する質問・疑問などがございましたら封書で、大城クリニックあてにご送付ください。『スクウェア21』誌上で回答させていただきます」

初診専用 ☎ 0120-70-0046 (9時~20時)

休診日 毎週金曜・祝日/初診料無料 完全予約制

〒160-0016 東京都新宿区信濃町34 JR信濃町ビル2F

大城クリニック・レーザー専門クリニック



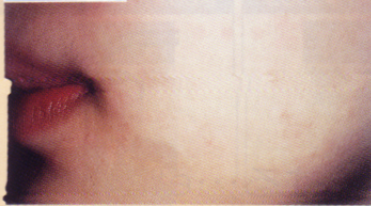
大城俊夫先生
(大城クリニック院長)

治療前



初診時

治療後



治療開始より約1年後の状態

生活情報研究会主催 セミナーのお知らせ

セミナー名:「夫婦ふたりで考えるレーザーの不妊セミナー」

日程:第14回3月15日(土) 14:00~17:00

講師:大城俊夫

慶應義塾大学医学部客員教授

大城クリニック院長

鈴木秋悦

慶應義塾大学医学部産婦人科元

助教授

銀座ウイメンズクリニック名誉院長

プログラム予定:

●講演① レーザーによる不妊治療

●講演② 不妊治療の最新情報

●レーザー治療体験

*レーザー治療の一部をご体験いただきます。

●質疑応答

*レーザー治療について、不妊治療などのご質問に専門の先生がお答えします。

参加費:2,000円

場 所:BRBクラブハウス

中央区銀座8-9-4

たあぶる館B2

申込み先:生活情報研究会広報部

要予約

TEL 03-5269-1437

<http://www.ohshiro.com>